

# 9.9(土) 今こそ戦争責任を問う!

—戦争は個人を翻弄する—

## 内海愛子さん

早稲田大学平和学  
研究所招聘研究員

## 講演会

(タイムメン)

### 「泰緬鉄道～捕虜虐待と戦争裁判」



■9月9日(土)

13:30 開場

14:00 開演

■場所：国労大阪会館

3F 大会議室(裏面地図)

(JR天満、地下鉄扇町①出口)

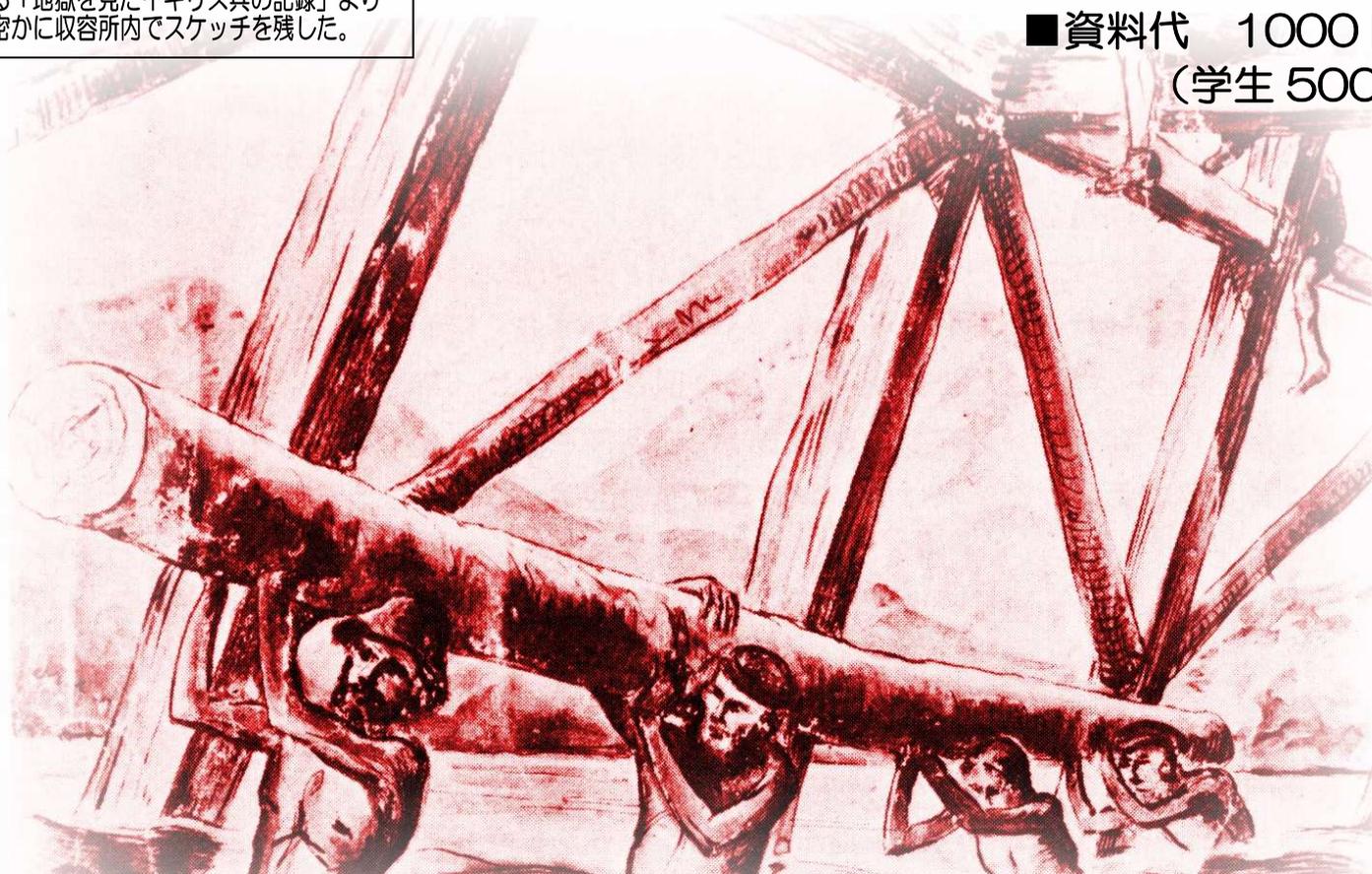
■資料代 1000円

(学生500円)

■朝鮮人元BC級戦犯者の伯父への思い

お話：姜秀一(カン・スイル)さん

イラストは、レオ・ローリングスの絵と文による「地獄を見たイギリス兵の記録」より～密かに収容所内でスケッチを残した。



主催：南京の記憶をつなぐ2023 TEL090-8125-1757

# 「南京の記憶をつなぐ2023」9月集会に参加を！

## ◆内海愛子さん（早稲田大学平和学研究所招聘研究員・歴史社会学者）



### 講演：「泰緬鉄道～捕虜虐待と戦争裁判」

（うつみ・あいこ）さんプロフィール：1941年生まれ。早稲田大学大学院文学部社会学専攻修了。恵泉女学園大学名誉教授。おもな著書に『朝鮮人BC級戦犯の記録』（勁草書房、1982、岩波現代文庫、2015）、『日本軍の捕虜政策』（青木書店、2005）、『スガモプリズン——戦犯たちの平和運動』（吉川弘文館、2004）、『キムはなぜ裁かれたのか——朝鮮人BC級戦犯の軌跡』（朝日新聞出版、2008）、『戦後責任——アジアのまなざしに答えて』（共著、岩波書店、2014）など。



日本が受諾した「ポツダム宣言」は日本の戦争犯罪を厳しく裁くと明記。東久邇宮稔彦首相は議会で「軍官民、国民全体が徹底的に反省し懺悔しなければならない」と演説、「自主裁判」も閣議決定、議会は「戦争責任に関する決議」を採択しました。

だが、戦争犯罪の追及は、連合国が実施（極東国際軍事裁判・BC級戦犯裁判）。BC級裁判では日本人・朝鮮人・台湾人も裁かれました。戦争裁判——誰が誰を裁いたのか。裁かれた戦争犯罪とは……。 「死の鉄路」といわれる泰緬鉄道の現場から考える。

## ◆お話：姜秀一（カン・スイル）さん（NPO法人猪飼野セツパラム文庫運営委員）

### 「朝鮮人元BC級戦犯者の伯父（下記、紹介記事参照）への思い」

私の伯父、李鶴来（イ・ハンネ）は17歳の若さで日本人として泰緬鉄道の連合軍捕虜収容所の捕虜監視員となり、戦後は捕虜虐待の罪でBC級戦犯として裁かれ死刑判決を受けました。

死刑執行は回避されましたが、31歳までスガモプリズンに収容され、サンフランシスコ平和条約締結後は日本国籍を喪失したことにより、当然受けるべき軍人軍属の恩給の対象から除外されたのです。

この不条理に対し、96歳の生涯を閉じるまで闘い続けた伯父への思い、生き様から学んだことをお話しさせていただきます。

### 紹介：李鶴来（イ・ハンネ）さん—「不条理と闘った男」



1925年、韓国全羅南道宝城郡生まれ。戦後、シンガポールで連合国が開いたBC級戦犯裁判で「日本人戦犯」として死刑判決を受けたが、減刑され1956年に仮釈放される。

その後、戦犯仲間らでつくったタクシー会社を都内で経営するも「日本人」として罪を負わされ、援護と補償は「外国人」として一切切り捨てられたことから、1955年、同じ境遇の韓国・朝鮮人元BC級戦犯者とともに「同進会」を結成。

以降一貫して日本政府に謝罪と補償を求め、闘い続け、訴訟を起こしたが、1999年、最高裁で敗訴が確定。その後も名誉回復や救済を求める活動を続けた。韓国政府は2006年、「日本の協力者」としてきたBC級戦犯を「植民地支配の被害者」と認め、名誉回復したが、2021年96歳で死去。

## 賛同団体、賛同人になってください！

■賛同団体：南京の映画をみる会しが、日中平和研究会、日本中国友好協会大阪府連合会、「週刊金曜日」読者の会・大阪、グループZAZA、大阪教育合同労働組合、教職員なかまユニオン、銘心会南京

■賛同人：岡田光司、古賀滋、島田潤、田中泉、千葉征慶、中沢浩二、古橋雅夫、森田徹、

長崎由美子（2023年6月末現在）

連絡先：南京の記憶をつなぐ2023

Tel.090-8125-1757

■会場：国労大阪会館 地図

